



文責 本宮小校長 佐久間仁

校内報告会ー



玉 福島のへそのまち本宮市と、北海道のへそのまち富良野市の児童が交流し、親睦を深める体験活動が行われました。今回、本宮小学校からは四名の児童が学校代表として参加しました。この度、校内報告会が行われ、全校生がその体験談に耳を傾けました。

【参加児童の発表（概要）】

富良野市に行つて学んだこと

六年 滝内 優那

私が富良野市に行つて学んだことを二つ紹介します。

一つ目は富良野市の産業、観光についてです。富良野市の産業は農業で、メロン、スイカ、玉ねぎ、人参、じゃがいも、富良野ワイン、プリン、乳製品などがあり、玉ねぎなどの野菜は北海道で一、二を

争う出荷量だそうです。また富良野は気温が低いので、昼と夜の寒暖差で野菜が甘くなるそうです。観光は世界中から人が来るラベンダー畑、ロケのセットがそのまま残る「北の国から」というドラマの舞台が有名で、富良野市の年間観光客は二百万人だそうです。

二つ目は北海道の独特な方言です。若い人はあまり使わないようですが、次のような方言があります。（お年寄りと話す時に便利だそうです。）

- ・ しばれる（冷え込む）
- ・ なげる（捨てる）
- ・ こわい（疲れた）
- ・ ちよす（いじる）
- ・ くさる（つつい〜してしまふ）



このように北海道には珍しい意味の方言があります。私は初めて聞いた時、どういう意味だか全然分からなくて、こんな意味なんだとびっくりしました。自分でも北海道の方言を調べてみたいと思います。

ここで紹介したのは二つですが、富良野市にはたくさん魅力がありました。また本宮市国内派遣交流事業を通して、扇山小学校の子どもたちに本宮市の魅力を伝え、富良野市の魅力を聞いたことで、改めて本宮市の魅力を再確認することができました。

交流を通して気づいたこと

六年 増子 めぐ

私は富良野市に行つて、二つのことに気づきました。

一つ目は、富良野市はメロンなどの農産物や、ラベンダー畑などの観光名所、ラフティングなどのたくさん魅力があり、とても楽しい市だということです。

二つ目は、富良野市と本宮市はどちらも素敵な市だということです。富良野市も本宮市も、みんなが協力して、より良い市をつくり出そうというところが、似ていると思いました。そして、どちらが良いというわけではなく、どちらもそれぞれ良いところをもっているということが分かりました。

これからは、本宮市も富良野市もお互いのいいところを取り入れながら、今よりもさらに良い市になってほしいです。



※報告会では、タブレットを使いながら、分かりやすく発表することができました。ほかの二名の発表内容は次号で紹介いたします。

栄 誉をたたえて



【社会を明るくする運動 標語・ポスターコンクール】

〔標語の部〕

〈金賞〉六年 岡部 心遙

五年 根本和結花

〔ポスターの部〕

〈金賞〉六年 滝内 優那

六年 渡邊 陸



《お知らせ》

マチコミメールでもお知らせしましたが、九月八日(日)第二回資源回収・奉仕作業を行います。今のところ天気は「曇り時々雨」となっています。雨天時は窓ふき掃除を行いますので、上履き、雑巾、新聞等をご準備ください。